市民協働かわら版

No.68

三月二十四日（火）令和元年度第十一回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、八名（市民六名、職員二名）の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

令和元年度も今月でおしまいです。新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるっています。オリンピックも延期となりました。りんくうタウンをはじめ、泉州地域の観光地でもインバウンドのお客様を見る機会も少なくなりました。毎年恒例となっている「ABCまつり」も中止となりました。仕方のないことですが、やっぱり残念ですね。令和二年度、実施予定のイベントの多くが見直しを迫られそうです。今回のサロン、部屋の喚起を十分にして、あれやこれやとお話が弾みました。

◎まちづくりサロンの活性化

二月のサロンで話の出たフェイスブックやラインを使ってサロンを活性化しようとの話になりました。若い人も気軽に参加できて、そこから新しい取り組みが生まれるかもしれません。また、今回のコロナウイルスによる集会等の自粛時にも、集まる必要なくリアルタイムにネット上での打合せも可能です。コミュニティづくりの新たな手段として活用していきたいです。

◎まちのルーツを知ろう

今回初参加の方から、「街道物語」は、もう終わりですかとの質問がでました。歴史が好きで面白い取り組みだと思ったので。「街道物語」はいったん区切りを付けましたが、再度、続編という形で取り組むことも可能です。みんなで話し合って自由に取り組めばいいのです。

市民の方で、泉南市の歴史の紙芝居を作っている方がおられます。子どもたちに紙芝居で泉南のことを伝えることが出来るのではとの意見がでました。それなら一度、その方の紙芝居を見せて頂き、お話を聞いてみたいとなりました。市民が協力して、泉南市のルーツを次世代に伝えていくことが重要です。三人寄れば文殊の知恵、繋がることが大切です。

◎いっしょに考え、企画しませんか？

サロン発の講座への参加者は比較的多いです。サロンの企画に興味を持って頂き、参加してくださるのはありがたいことです。参加された皆さんが企画する側、月例のサロンに参加して一緒に考えていただけるようPRが必要かもしれません。フェイスブックなどのツールを活用するのもいいことでしょう。面白く、楽しく、和気藹藹と、がサロンのモットーです。あなたの得意分野を活用してみませんか？ 報酬はみんなの笑顔です。サロンにお越しください。

【せんなんロングパーク】

令和二年四月に、りんくうタウンに公園が開設されます。名称は「せんなんロングパーク」です。現在、開園に向けて、急ピッチで工事がすすんでいます。りんくうタウンの埋め立てが始まる以前の海岸は、大阪湾に残された貴重な砂浜が広がる自然海浜でした。白砂青松、多くの海水浴客で賑っていました。

大阪湾の別名「チヌの海」は、日本書紀に載る泉南市での故事から来ています。戦で矢傷を負った神武天皇の兄君、五瀬命（イツセノミコト）が雄水門（オノミナト）と呼ばれた泉南市の海岸でその傷を洗ったところ、海が血の沼のよう真っ赤に染まったと言われています。神話の時代から語り継がれる泉南市の物語、公園で潮風に吹かれ、太古の出来事に想いを馳せるのも一興です。

発行：泉南市総合政策部政策推進課
〒五九〇-〇五九二　泉南市樽井一-一-一
TEL：〇七二-四八三-〇〇〇四
（令和二年四月七日発行）